

# PO研修について

POとは  
どんな存在ですか？

「POとは、社会や地域の諸課題を俯瞰的に分析し、それらの解決に有効な助成プログラムの策定を行い、**助成先に対する伴走支援を中心に、ヒト・モノ・カネ・情報といった様々なリソースをコーディネートし、ワンストップで、実施のプロセスから成果に至るまでにおいて、助成事業運営の中核的な役割を潤滑油のように果たしていく人材である。**」と休眠預金事業では定義しています。

PO研修では、PO未経験者でも、休眠預金事業を推進するための情報や知識、ネットワークなどを提供するためにある「**学びの場**」であり、休眠預金助成事業の根底を支える大事な役割を担っています。

# 資金分配団体に期待する役割(公募要領に記載)



- 1) JANPIA提示の「優先的に解決すべき社会の諸課題」を踏まえ、地域・分野等ごとの実情と課題を俯瞰的かつ具体的に把握・分析し、**案件の発掘・形成**を積極的に行う
- 2) 社会の諸課題の解決に向け、「**包括的な支援プログラム**」を企画・設計し、**公募により実行団体を選定し、資金支援及び非資金的支援を必要に応じ伴走型で提供する**
- 3) 実行団体の事業の特性及び発展段階を踏まえつつ、**革新的手法により資金の助成**を行うこと等を通じ、**自立した担い手の育成**を図る
- 4) 実行団体による民間公益活動が適切かつ確実に遂行されるように、**実行団体に対する適切な監督**を行う
- 5) 民間の創意・工夫の発揮を促すように支援を行うことで、**社会の諸課題を解決するための革新的な手法を開発し、実用化**する
- 6) 実行団体に対して、**現地調査を含む継続的な進捗管理及び成果評価を点検・検証し**、その結果等の有効活用を促す
- 7) 民間の資金を**民間公益活動に呼び込むための具体策を策定し、実施**する

# 休眠預金事業POの全体業務



	助成事業の各段階	具体的な業務
助成の企画・準備段階	<b>実行団体への助成プログラムの策定</b> ※助成スタイルの選択、事業形態の選択、優先分野の設定等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専門家等からの情報収集</li> <li>・ 文献調査</li> <li>・ 現場の課題ヒアリング 等</li> </ul>
	<b>申請者の審査・決定</b> ※申請者との関係構築、申請書の審査 [事業内容、予算、事業実施能力等の判断]、申請者とのコミュニケーション等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公募要領、企画書、報告書類様式作成</li> <li>・ 広報、説明会開催</li> <li>・ 選考委員選定、委員会開催</li> <li>・ 贈呈式開催 等</li> </ul>
助成の実行段階	<b>プロジェクト管理</b> ※「社会的インパクト評価」の計画と実行に係る支援、事業実施のサポート、実行団体の資金的自立化支援（出口戦略検討）等を助成先との対等なパートナーシップの構築をベースとした現場感覚で対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 助成先の訪問</li> <li>・ 助成先の経営支援</li> <li>・ ヒト・モノ・カネ・情報を繋ぐ連携支援</li> <li>・ 助成先での研修の実施</li> <li>・ 事業の進捗管理</li> <li>・ 進捗状況の評価・中間報告会開催 等</li> <li>・ 事業実施報告書等のやりとり</li> </ul> <div style="border: 1px dashed blue; padding: 2px; display: inline-block; color: red; font-weight: bold;">伴走支援</div>
	<b>成果評価～プログラムの見直し</b> ※継続/終了の判断、完了報告書の受取、評価)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 個別プロジェクトの成果発信・拡大</li> <li>・ プログラムの振り返り・報告書作成</li> <li>・ プロジェクトフォロー（普及、事業スケール拡大）、公共政策への働きかけ）等</li> </ul>

[https://www.janpia.or.jp/koubo/2019/pdf/kiban\\_jinkenhi.pdf](https://www.janpia.or.jp/koubo/2019/pdf/kiban_jinkenhi.pdf)

## 資金分配団体に求められる役割

1. 課題分析と案件の発掘・形成
2. プログラム開発・公募実施・伴走支援
3. 資金の助成等を通じ、自立した担い手の育成
4. 監督
5. 社会の諸課題を解決するための革新的な手法を開発
6. 進捗管理及び成果評価を点検・検証
7. 民間の資金の呼び込み

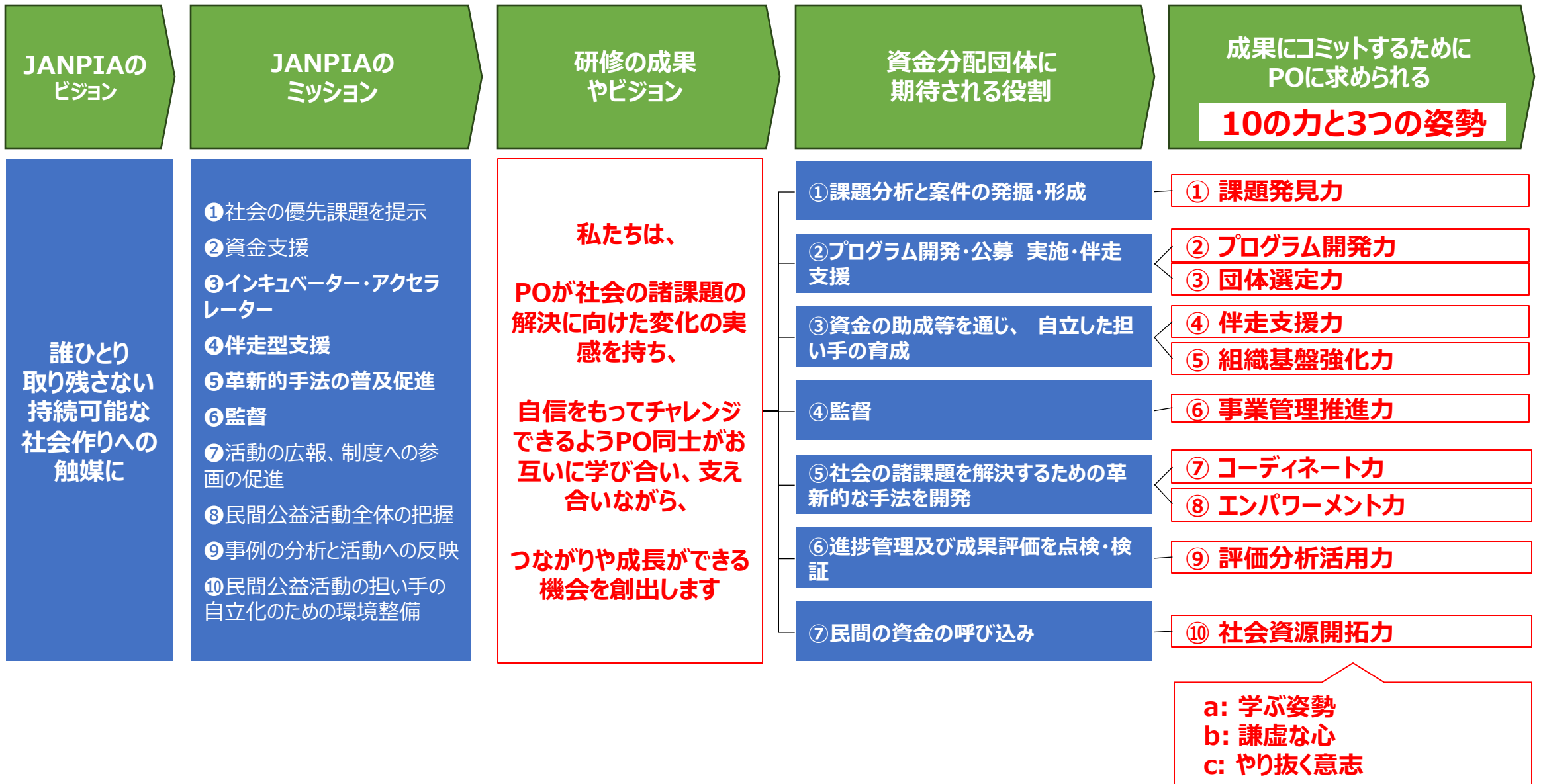
※基本方針より

## 資金分配団体のPOに求められる力

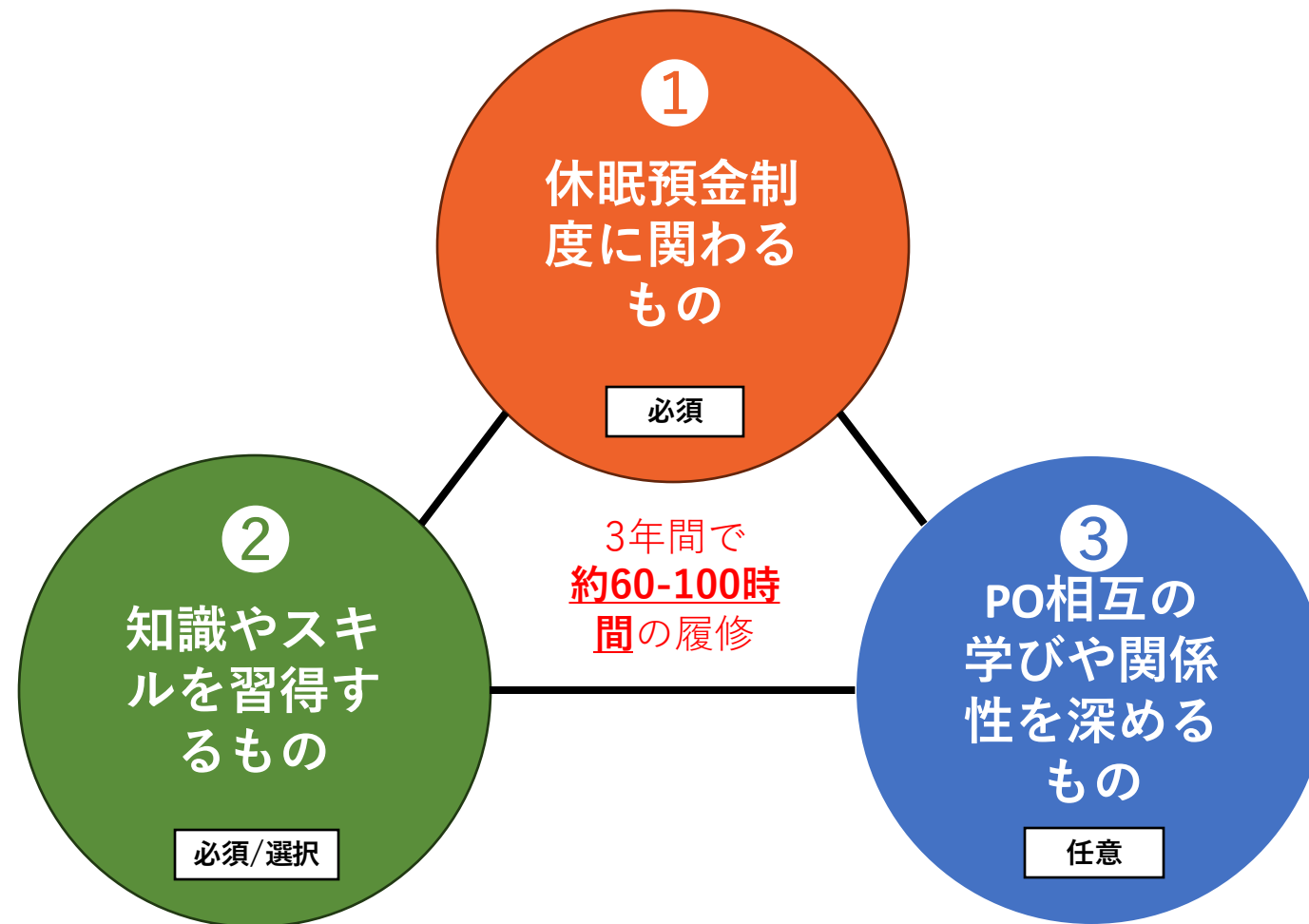
1. 課題発見力・調査力
2. プログラム開発力・選定力
3. 伴走支援力
4. 事務能力
5. コーディネート力
6. 評価分析力
7. 資源開発力



# 10の力と3つの姿勢【新:PO研修カリキュラム】





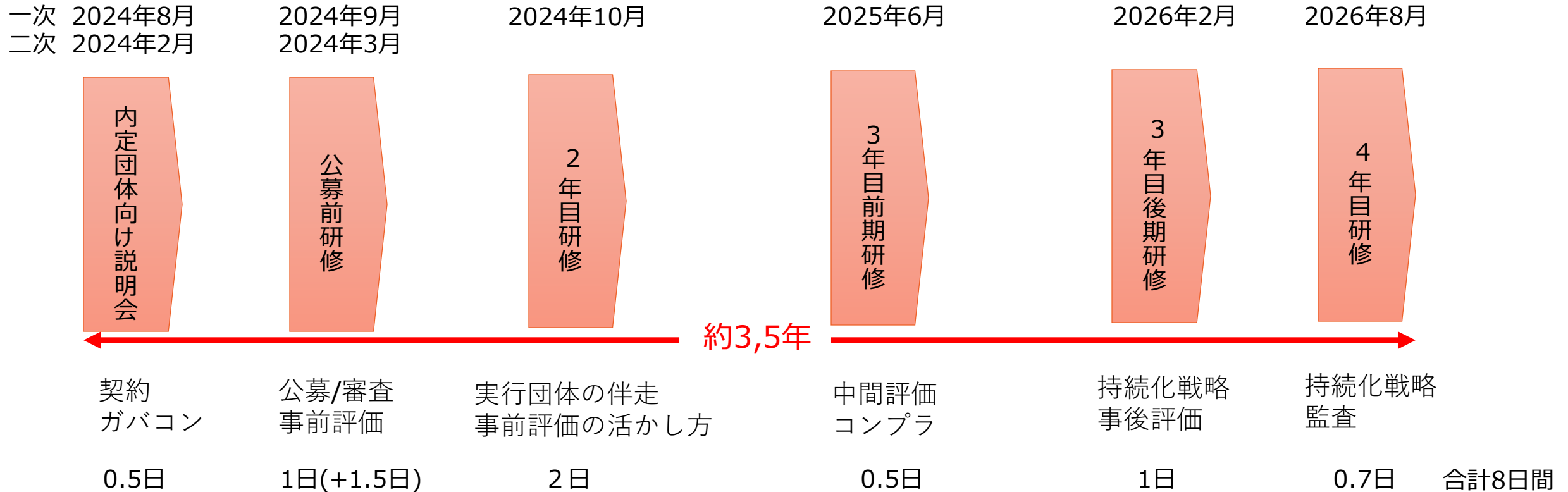


研修カリキュラムを3つに分類し、休眠預金制度（及びJANPIA関連）と助成事業、プログラム・オフィサーなど助成事業の前提となる研修内容を1つにまとめ、知識/スキル系、ピアラーニング系と切り分ける



PO研修&勉強会  
3年間で  
延べ60-100時間前後

# 2024年度の皆さんへのPO研修スケジュール(予定)



※上記日程はあくまでも目安であり、1~2か月程度前後することがあります。

コーチング勉強会

実行団体との関係性づくりの向上、変化など

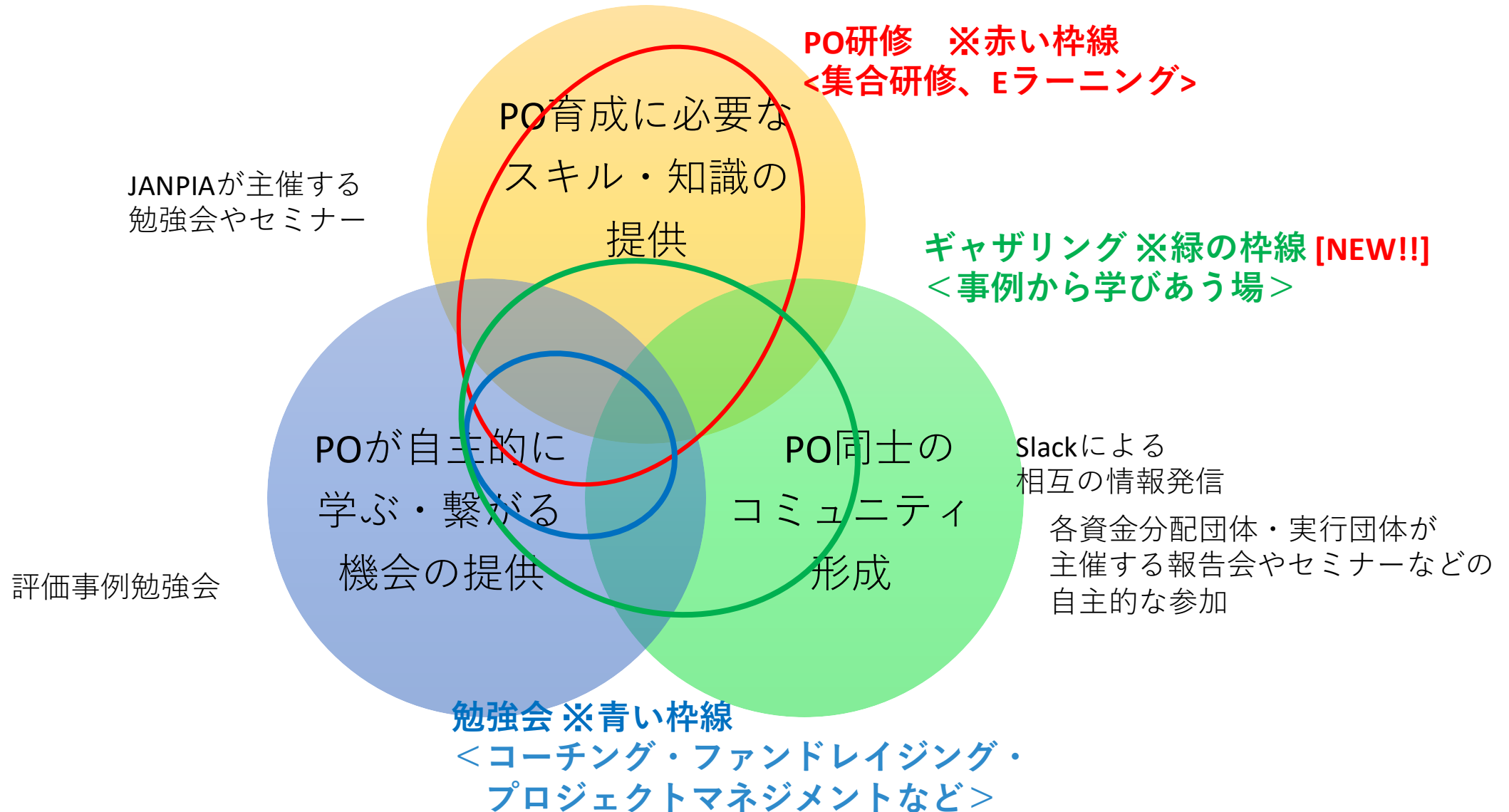
ファンドレイジング勉強会

出口戦略の1つとして、資金調達の準備・実施に向けた戦略を考えるため

企業連携・マッチング会

企業連携・プロボノコーディネーションを学ぶため

# 休眠預金事業のPO研修/コミュニティについて



# 3年半後にどうなっている姿を想像するのか



- 実行団体に伴走し、事業は最大限やれたと言える状態か
- 信頼関係を構築し、より良い社会の変化に寄与できたか
- 実行団体の事業だけでなく、自分自身も成長を実感できたか
- 新しい価値や仕組み、変化の流れをつくる側になれたか
- 楽しくできたか (苦労や反省、大変なことはあったとしても…)